

ます。また、バッテリー充電は専用の急速充電器に加え、家庭用コンセントからも可能です。充電時間は急速充電器では約三十分（八十%充電）家庭用コンセントでも七～十四時間程度（百%充電）です。必要となる電気料金は、同距離の走行に必要なガソリン代と比較して通常の昼間電力で三分の一、割安な深夜電力では九分の一と経済的です（※）。（下表を参照）。

電気から見た 地球環境保全

中国電力株式会社
広報・環境部門マネージャー (地域総括)
松岡 良典

2 電気自動車の現状

2 電気自動車の現状

最近、電気自動車に関する記事が新聞を賑わしています。電気自動車は走行時にCO₂等の排出ガスがないことから、地球温暖化や大気汚染などへの対策として注目を集めています。走行可能距離とバッテリー充電方法等の改良が進み、すでに国内の大手メーカーでも生産・発売されています。「I-M-EV」を例にみると、1回の充電で百六十キロ走行が可能で、街乗り利用には十分なレベルとなっています。

自動車の普及に向けて、各地で急速充電器の設置などのインフラ整備が進んでいます。広島県でも本年から、行政と民間が一体となったカーシェアリング制度の実施を予定しています。制度の内容は、広島県がレンタカー会社を公募で選定し、そのレンタカー会社での電気自動車の購入や急速充電器の設置について補助を行い、整備・運営を委託し

区分	電気の規格	充電時間
急速充電器	3相 200 V	0.5 時間 (電池容量の 80%)
一般家庭用 コンセント	単相 100 V (一般の家庭用電気機器用)	14 時間 (電池容量の 100%)
	単相 200 V (電気クッキングヒーター用)	7 時間 (電池容量の 100%)

ます。レンタカー会社は、市場価格よりも安い料金で利用者に貸出し、予約のないときは県が公用車として無料で使用するというものです。

今後、バッテリーのさらなる大容量化および軽量化、あるいは量産による販売価格の低下等による本格的な普及が期待されています。

進むインフラの整備 本格的な普及に期待



電気自動車（i-MiEV）と急速充電器

もう一つの基金活用事業である「環境啓発ポスター・標語コンクール」は、年々参加する公衛協が増え、今年度は「地球温暖化を防ごう」をテーマに募集をしたところ、一

今年度は十四団体からの申請があり、五月二十八日に開催した第一回地域活動支援基金運用委員会において審査を行った結果、「一部の団体には追加資料を提出したのちに採択」など条件付きながら、発展型二団体、導入型十一団体の事業が採択された。採択された団体は来年一月末日までに事業を終了し、報告書を当協会へ提出する。(採択団体は下表に記載)

援を通じて、住みよい社会環境づくりに貢献することを目指的としている。助成事業には市町公衛協を対象に発展性が見込まれる活動に対して助成する「発展型」と、市町・支部・地区・学区公衛協を対象に、助成をきっかけとして「ミニユニアティ」づくりにつながる活動を対象とする「導入型」の二部門があり、四月から募集してきた。

金の活用事業として、平成二十年度にスタートした「環境と健康の「ミユニティ活動助成事業」は、公衛協が主体となつて実施される環境と健康づくりに取り組む活動の支

府中市など14事業に助成
「コンクール」に20公衛協が参加

地域活動支援基金活用事業

十市町公衛協会に参加の申請があり、県内の一百二十九の



基金運用委員会での審査の状況

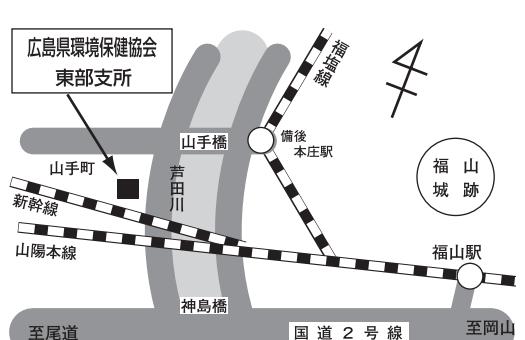
小学校 六十六の中学校が象となる。各市町公衛協にお



ポスター・標語コンクール（昨年の授賞式の様子）

いて第一次審査を行つたのち
入選作品を当協会に推薦する
その後、当協会設置の選考委
員会において第二次審査を行
い、各部門で最優秀賞、優秀
賞、奨励賞を決定し、十一日
九日の第五十一回広島県公衆
衛生大会の席上において表彰
を行う予定。
なお事業終了後、報告書を
事例集にまとめ、研修会や会
議の資料として広く活用する
予定である。

平成22年度「環境と健康のコミュニティ活動助成事業」



東部地区の検査受付は、支所でも行います！

食品検査・衛生検査・飲料水検査・環境検査など
【受付時間】月曜日から木曜日 8:30~17:30

財団法人 広島県環境保健協会 東 部 支 所

〒720-0092 福山市山手町5-32-26
TEL 084-952-0007
FAX 084-952-0009